

## 栄養評価 栄養関連データの見方 ～CONUTスコア～

CONUTスコアは、スペインの栄養士ゴンザレスさんが2003年のESPEN(欧州静脈経腸栄養学会)で発表した、入院患者の栄養状態の指標です。アルブミン、総コレステロール、リンパ球数の値をスコア化し、タンパク代謝、脂質代謝、免疫能を反映した指標で、栄養不良レベルを正常・軽度・中等度・高度の4段階に評価できます。CONUTは「コナット」と読まれることが多いようですが、発表者のゴンザレスさんは「コニュート」や「コヌート」と読むことを想定しているそうです。



Dra. B. Gonzalez

アルブミン ※3.8-5.1(g/dL)	摂取したアミノ酸から肝臓で生成されるタンパク質。体内で最も多いたタンパク質で半減期が21日と長いため、長期の栄養評価に用いられる。
総コレステロール ※130-220(mg/dL)	食事摂取また肝臓を中心に体内で産生される脂質。細胞膜・ホルモン等の合成成分にもなる。脂質代謝に反映。
リンパ球数(/ $\mu$ L)	白血球の一種で免疫能に関与する。白血球数の20～40%を占める。

LYMPHOCYTE



※当院での基準値

アルブミン(g/dL) スコア①	$\geq 3.50$ 0	3.00-3.49 2	2.50-2.99 4	$< 2.50$ 6
総コレステロール(mg/dL) スコア②	$\geq 180$ 0	140-179 1	100-139 2	$< 100$ 3
リンパ球数(/ $\mu$ L) スコア③	$\geq 1600$ 0	1200-1599 1	800-1199 2	$< 800$ 3

CONUTスコア (①+②+③)	0-1	2-4	5-8	9-12
栄養不良レベル	正常	軽度	中等度	高度



CONUTスコア $\geq 5$ (中等度、高度)をNST介入基準のひとつにしています。

CONUT: a tool for controlling nutritional status. First validation in a hospital population. Nutr Hosp. 20:38-45, 2005.

### 【編集後記】

CONUTスコアは、栄養状態評価のスクリーニングとしても有用です。アルブミン、総コレステロール、リンパ球数は院内項目で当日中に分かるので、ぜひ活用してみてください！ NST委員会 長友(臨床検査科)・三松(外科)